

「障害者地域活動支援センター」ふえふき通信

私も防災訓練に参加したい!!
〜防災訓練地域の支えあい〜

レポート by 慶



毎年行われる防災訓練。みなさんは地区の防災訓練に参加しましたか？障がいがあっても「自分で自分の身を守るように」「地域の人と支えあえるように」と支援センターでは3年前から障がい者の方が防災訓練に参加できるようお手伝いをしています。今年は石和と春日居での防災訓練を行いました。今回は石和の様子をレポートします。

『子どもだけでお留守番している時に地震が起きたらどうする?』

今回は体が不自由のため電動車椅子で生活している小6のまゆなちゃん、お兄ちゃん、弟くん3人だけで避難訓練開始。河村民生委員さんと近所の武川さんの協力の下、みなでお母さんの待つ避難所に向かいました。



これから地域の行事に頑張っ参加してみようかな。

まゆなちゃん

今回の防災訓練が一步踏み出す勇気になった。私も安心したし、子どもたちの自信になりました。改めて地域のつながりは大切だと思いました。地域の行事に参加したり、近所を散歩したり、これから少しずつ地域とのつながりを増やしていきたいです。皆さんにも積極的に地域に出て行ってほしいですね。

お母さん

河村さん (民生委員)

今回を通して、言い出しにくいことも言えるようになりました。日頃会った時に、どこまで聞いていいかわからないということもあります。でも、地域には「助けて」「力になりたい」と思っている人がたくさんいます。日常的にもっと交流をもてたら、と思います。

武川さん (ご近所)

初めての経験で私も緊張しましたがよい経験でした。このことがきっかけで何かあったらお互いに助け合えることが確認できました。近所の人たちでお互いさまの気持ちでいられるようにしていきたいです。

区長さん

住民も電動車椅子について知らない人が多いので、多くの人に知ってもらいたいです。訓練はとても大事なことです。交流をしながら、お互いを助け合える関係作りができれば、と思います。

組長さん

今回は訓練だから役割分担できました。実際の場面では人が変わったらどこまでできるかわかりません。ある程度近所の人たちのことを知っていなければ、と思います。普段から声をかけ合っていくことを心がけたいと思います。

第9回ハートランドふえふき 開催しました!!

開催しました!!

レポート by 奈緒

7月9日(土)、清流公園で「第9回ハートランドふえふき」が開催されました。当日は朝からあいにくの雨でしたが、多くの方にご参加、ご協力いただき大盛況で終えることができました。心より感謝申し上げます。

★市民ミーティング

障がい当事者とその家族の声を、ご出席いただいた倉嶋市長と行政担当者に直接届けることができました。

障がい当事者のことをいろいろな人に知ってほしい



市外の支援学校に通学しているも、地元の学童保育に通えるようにしてほしい

★ステージ発表

子どもたちの歌や聴覚障がい者による手話ダンス、太鼓の演奏などが行われ、普段の練習の成果を発表しました。

★模擬店

障がいのある方が商品を販売し、来場していただいた市民の方と交流ができました。障がいについて知ってもらえるきっかけとなりました。

★ユニバーサルスポーツ教室・おりがみとマーブリンの体験コーナー

年齢や障がいの有無に関係なく楽しむことができます。多くの方が参加していました。特に子どもたちに人気で、元気づけたい姿を見ることができました。



ハートランドふえふきは障がいがあっても住みやすい笛吹市にするための第一歩です。このはじめの一步を二歩、三歩と続けていけるように、障がい当事者と家族が声をあげて活躍できる場をこれからも作っていかたいと思います。